



## 平成28年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月30日  
上場取引所 東 東

上場会社名 株式会社電算システム  
コード番号 3630 URL <http://www.densan-s.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 田中 靖哲  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 近藤 登

TEL 058-279-3456

定時株主総会開催予定日 平成29年3月24日 配当支払開始予定日 平成29年3月27日

有価証券報告書提出予定日 平成29年3月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年12月期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

|         | 売上高    |     | 営業利益  |      | 経常利益  |      | 親会社株主に帰属する当期純利益 |      |
|---------|--------|-----|-------|------|-------|------|-----------------|------|
|         | 百万円    | %   | 百万円   | %    | 百万円   | %    | 百万円             | %    |
| 28年12月期 | 30,369 | 4.9 | 1,125 | 8.0  | 1,157 | 7.9  | 732             | 10.9 |
| 27年12月期 | 28,956 | 9.3 | 1,042 | △9.7 | 1,071 | △7.8 | 660             | △3.6 |

(注)包括利益 28年12月期 682百万円 (△5.3%) 27年12月期 720百万円 (△3.9%)

|         | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | 自己資本当期純利益率 | 総資産経常利益率 | 売上高営業利益率 |
|---------|------------|-------------------|------------|----------|----------|
|         | 円 銭        | 円 銭               | %          | %        | %        |
| 28年12月期 | 75.42      | 75.40             | 9.0        | 3.1      | 3.7      |
| 27年12月期 | 67.81      | 67.74             | 8.6        | 3.7      | 3.6      |

(参考) 持分法投資損益 28年12月期 1百万円 27年12月期 1百万円

#### (2) 連結財政状態

|         | 総資産    | 純資産   | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------|--------|-------|--------|----------|
|         | 百万円    | 百万円   | %      | 円 銭      |
| 28年12月期 | 44,991 | 8,613 | 18.8   | 866.60   |
| 27年12月期 | 30,064 | 7,974 | 26.2   | 812.42   |

(参考) 自己資本 28年12月期 8,443百万円 27年12月期 7,867百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

|         | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|---------|------------------|------------------|------------------|---------------|
|         | 百万円              | 百万円              | 百万円              | 百万円           |
| 28年12月期 | 1,354            | △1,118           | 18               | 2,787         |
| 27年12月期 | 806              | △685             | △335             | 2,531         |

### 2. 配当の状況

|             | 年間配当金  |        |        |       |       | 配当金総額(合計) | 配当性向(連結) | 純資産配当率(連結) |
|-------------|--------|--------|--------|-------|-------|-----------|----------|------------|
|             | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末    | 合計    |           |          |            |
|             | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭   | 円 銭   | 百万円       | %        | %          |
| 27年12月期     | —      | 11.00  | —      | 12.00 | 23.00 | 224       | 33.9     | 2.9        |
| 28年12月期     | —      | 12.00  | —      | 12.00 | 24.00 | 234       | 31.8     | 2.9        |
| 29年12月期(予想) | —      | 12.00  | —      | 13.00 | 25.00 |           | 36.2     |            |

### 3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

|           | 売上高    |      | 営業利益  |      | 経常利益  |      | 親会社株主に帰属する当期純利益 |      | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|------|-------|------|-------|------|-----------------|------|------------|
|           | 百万円    | %    | 百万円   | %    | 百万円   | %    | 百万円             | %    | 円 銭        |
| 第2四半期(累計) | 15,987 | 8.2  | 470   | 14.8 | 479   | 10.8 | 267             | △7.0 | 27.34      |
| 通期        | 33,700 | 11.0 | 1,170 | 3.9  | 1,180 | 2.0  | 675             | △7.7 | 69.05      |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

|                     |         |              |         |              |
|---------------------|---------|--------------|---------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 28年12月期 | 10,040,000 株 | 27年12月期 | 10,033,600 株 |
| ② 期末自己株式数           | 28年12月期 | 296,554 株    | 27年12月期 | 349,854 株    |
| ③ 期中平均株式数           | 28年12月期 | 9,710,925 株  | 27年12月期 | 9,738,144 株  |

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数については、電算システム従業員持株会信託が所有している当社株式(27年12月期95,000株、28年12月期41,700株)を控除対象の自己株式に含めて算定しております。

(参考) 個別業績の概要

平成28年12月期の個別業績(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

|         | 売上高    |     | 営業利益  |       | 経常利益  |      | 当期純利益 |      |
|---------|--------|-----|-------|-------|-------|------|-------|------|
|         | 百万円    | %   | 百万円   | %     | 百万円   | %    | 百万円   | %    |
| 28年12月期 | 28,496 | 4.9 | 1,055 | 11.0  | 1,083 | 10.8 | 691   | 13.1 |
| 27年12月期 | 27,166 | 7.5 | 950   | △10.5 | 977   | △8.8 | 610   | △4.7 |

|         | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 |
|---------|------------|-------------------|
|         | 円 銭        | 円 銭               |
| 28年12月期 | 71.16      | 71.14             |
| 27年12月期 | 62.72      | 62.66             |

(2) 個別財政状態

|         | 総資産    |  | 純資産   |  | 自己資本比率 |        | 1株当たり純資産 |  |
|---------|--------|--|-------|--|--------|--------|----------|--|
|         | 百万円    |  | 百万円   |  | %      | 円 銭    |          |  |
| 28年12月期 | 43,977 |  | 8,230 |  | 18.7   | 844.74 |          |  |
| 27年12月期 | 29,499 |  | 7,696 |  | 26.1   | 794.77 |          |  |

(参考) 自己資本 28年12月期 8,230百万円 27年12月期 7,696百万円

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績・財政状態に関する分析(1) 経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| 1. 経営成績・財政状態に関する分析 .....         | 2  |
| (1) 経営成績に関する分析 .....             | 2  |
| (2) 財政状態に関する分析 .....             | 4  |
| (3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 ..... | 5  |
| (4) 事業等のリスク .....                | 5  |
| 2. 企業集団の状況 .....                 | 8  |
| 3. 経営方針 .....                    | 9  |
| (1) 会社の経営の基本方針 .....             | 9  |
| (2) 目標とする経営指標 .....              | 9  |
| (3) 中長期的な会社の経営戦略 .....           | 9  |
| (4) 会社の対処すべき課題 .....             | 10 |
| (5) その他、会社の経営上重要な事項 .....        | 10 |
| 4. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....      | 10 |
| 5. 連結財務諸表 .....                  | 11 |
| (1) 連結貸借対照表 .....                | 11 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....     | 13 |
| 連結損益計算書 .....                    | 13 |
| 連結包括利益計算書 .....                  | 14 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 .....           | 15 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....         | 17 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....         | 19 |
| (継続企業の前提に関する注記) .....            | 19 |
| (連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項) .....   | 19 |
| (会計方針の変更) .....                  | 21 |
| (表示方法の変更) .....                  | 21 |
| (追加情報) .....                     | 22 |
| (セグメント情報等) .....                 | 23 |
| (1株当たり情報) .....                  | 27 |
| (重要な後発事象) .....                  | 27 |
| (開示の省略) .....                    | 27 |
| 6. その他 .....                     | 27 |
| (1) 役員の変動 .....                  | 27 |

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

①当連結会計年度の業績

当連結会計年度におけるわが国の経済は、企業収益の回復基調や雇用環境の改善傾向で推移しております。しかしながら、中国をはじめ新興国の景気の下振れの懸念や米国大統領選挙による金融市場の混乱により、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

このような経営環境において、当社グループは、新しい価値の創造により、顧客に感動を、社員に夢を、株主に満足をもたらす経営理念のもと、さらなる業容の拡大と成長を志向し、継続的な営業努力と効率的な事業運営に努め、経営計画の達成を目指してまいりました。

各セグメント別の概況は以下のとおりとなっております。

(情報サービス事業)

情報サービス事業の売上高は、情報処理サービスにおいて請求書作成代行、地方公共団体向け処理などの売上が順調に推移し、また、新たなギフト処理サービスを稼働したことなどにより増収となりました。S I・ソフト開発及び商品販売においては、G Suite(旧Google Apps for Work)などクラウド関連サービスや、オートオークション業務システム、ERPパッケージなどの案件が順調に推移したものの、前連結会計年度に計上した地方公共団体向け大型機器販売などの影響により減収となりました。一方、利益面では、情報処理サービスにおいて新たなギフト処理サービス立ち上げのための費用増大や既存サービスの価格競争により利益率が厳しくなっているものの、S I・ソフト開発では利益率の高い案件の獲得などにより、事業全体では増益となりました。

以上の結果、情報サービス事業の売上高は153億20百万円(前年同期比1.3%増)、営業利益は5億16百万円(前年同期比6.6%増)となりました。

(収納代行サービス事業)

収納代行サービス事業においては、地方自治体を含む新規取引先の獲得が順調に推移いたしました。また、当連結会計年度には、熊本地震の影響や休日の並び等の要因により月毎の伸び率の変動は例年になく大きかったものの、年間を通しては概ね良好な結果となりました。また、スーパーマーケットやドラッグストアチェーン店舗向けの収納窓口サービスの導入店舗数もほぼ計画通りに増加いたしました。

以上の結果、収納代行サービス事業の売上高は150億49百万円(前年同期比8.8%増)、営業利益は6億43百万円(前年同期比18.3%増)となりました。

これらの結果、当連結会計年度における売上高は303億69百万円(前年同期比4.9%増)、利益においては、営業利益は11億25百万円(前年同期比8.0%増)、経常利益は11億57百万円(前年同期比7.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は7億32百万円(前年同期比10.9%増)となりました。

各セグメント別ごとの業績は次のとおりであります。

| セグメントの名称   | 前連結会計年度<br>(自 平成27年1月1日<br>至 平成27年12月31日) |            | 当連結会計年度<br>(自 平成28年1月1日<br>至 平成28年12月31日) |            | 前年同期比増減      |            |
|------------|---|------------|---|------------|--------------|------------|
|            | 売上高<br>(千円)                               | 構成比<br>(%) | 売上高<br>(千円)                               | 構成比<br>(%) | 増減金額<br>(千円) | 増減率<br>(%) |
| 情報サービス事業   |   |            |   |            |              |            |
| S I・ソフト開発  | 9,053,242                                 | 31.3       | 9,040,317                                 | 29.7       | △12,925      | △0.1       |
| 情報処理サービス   | 4,553,003                                 | 15.7       | 5,034,619                                 | 16.6       | 481,615      | 10.6       |
| 商品販売       | 1,515,967                                 | 5.2        | 1,245,114                                 | 4.1        | △270,852     | △17.9      |
| 小計         | 15,122,213                                | 52.2       | 15,320,051                                | 50.4       | 197,837      | 1.3        |
| 収納代行サービス事業 | 13,834,382                                | 47.8       | 15,049,535                                | 49.6       | 1,215,153    | 8.8        |
| 計          | 28,956,596                                | 100.0      | 30,369,587                                | 100.0      | 1,412,991    | 4.9        |

②次期の見通し

セグメント別の見通しは次のとおりであります。

(情報サービス事業)

情報サービス事業では、一部組織の見直しを図り、営業部門と開発運用部門をそれぞれ集約し、別組織として統合します。これにより、さらに社内連携を深めた強力な営業力を発揮するとともに、効率的なシステム開発やオペレーション運用を進めてまいります。

情報処理サービスでは、BPO（情報処理アウトソーシング）業務の量的拡大とサービスのワンストップ化による質的充実により、お客様へのサービスの更なる向上を図り、既存顧客の深耕に加え新規顧客の獲得を進め、規模の拡大に取り組んでまいります。

SI・ソフト開発では、プライベート事業の促進、コアパートナーとの連携や大手システムインテグレーターとの協業、公共部門・金融部門・医療部門での確実な受注などにより、取引規模の拡大を目指します。そのため、IT技術と顧客経営課題との橋渡しになるような提案型営業に注力し、より顧客の役に立つシステムの実現を図ってまいります。

また、G Suite(旧Google Apps for Work)・セールスフォースなどに代表されるクラウドサービスの販売拡大や、急速に普及が進んでいるモバイル端末をビジネスに活用するためのアプリケーション開発に取り組むと共に、データセンターを活用した新しいサービスの提供などにより、クラウド事業の拡大に努めてまいります。そして平成28年10月より新たに子会社となった㈱ゴガのグーグルマップを活用した位置情報サービス、ビックデータ解析・可視化なども加え、顧客企業の事業拡大に寄与する情報サービスも提供してまいります。

(収納代行サービス事業)

収納代行サービス事業では、新しい便利な収納サービスへの対応に加えて、とりわけフィンテックという言葉に集約される決済を取り巻く新しい流れへの対応が必要となってきております。その中で、他社との競合が一層激しさを増し、いかに利益を確保していくかが課題であります。そのためには、新しい流れを取込むべく、情報収集、分析により力を注ぐとともに、今後も大きな成長が見込まれる分野に経営資源を集中し、決済サービスの拡大に努めてまいります。

さらに、国内送金サービス事業の拡大、また、世界最大級の国際送金事業者The WesternUnion Companyとの提携により開始した国際送金サービスにおいては、コンビニエンスストア以外にも取扱い窓口を増やすなどして、消費者の利便性を追求する新たなサービスの創出に努めてまいります。また、平成28年にフィリピンを代表する収納代行企業であるCIS Bayad Center inc.との業務技術提携を締結したに基づき、平成29年は現地での新サービスの早期稼働及びその提携深度を深めていきたいと考えております。

以上により、次期の連結業績見通しとして、売上高337億円（当期比11.0%増）、営業利益11億70百万円（当期比3.9%増）、経常利益11億80百万円（当期比2.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益6億75百万円(当期比7.7%減)を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債及び純資産の状況に関する分析

当連結会計年度末の資産は、前連結会計年度と比較して149億26百万円増加し、449億91百万円となりました。これは主に、金銭の信託が129億8百万円、現金及び預金が7億3百万円、のれんが4億29百万円、受取手形及び売掛金が3億36百万円増加したことによるものであります。

当連結会計年度末の負債は、前連結会計年度と比較して142億87百万円増加し、363億77百万円となりました。これは主に、短期借入金が2億12百万円減少したものの、収納代行預り金が133億56百万円、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が5億60百万円、その他流動負債が2億74百万円増加したことによるものであります。

なお、金銭の信託及び収納代行預り金は、収納代行サービス事業に係る預り金が含まれており、預り金の入出金タイミングの影響を受けたことにより増加しております。

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度と比較して6億38百万円増加し、86億13百万円となりました。これは主に、自己株式が1億25百万円減少したものの、利益剰余金が4億97百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況に関する分析

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度と比較して2億55百万円増加し、当連結会計年度末残高は27億87百万円(前期末比10.1%増)となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は13億54百万円(前連結会計年度は8億6百万円の増加)となりました。これは主に、法人税等の支払額3億36百万円、売上債権の増加1億89百万円により資金が減少したものの、税金等調整前当期純利益11億69百万円、減価償却費4億92百万円、その他の流動負債の増加1億94百万円により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は11億18百万円(前連結会計年度は6億85百万円の減少)となりました。これは主に、投資有価証券の売却52百万円により資金が増加したものの、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出3億82百万円、有形固定資産の取得3億73百万円、無形固定資産の取得3億25百万円により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した資金は18百万円(前連結会計年度は3億35百万円の減少)となりました。これは主に、長期借入金の返済4億39百万円、配当金の支払い2億34百万円、短期借入金の純減少2億12百万円により資金が減少したものの、長期借入金の借入8億20百万円により資金が増加したことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

|                       | 平成26年12月期 | 平成27年12月期 | 平成28年12月期 |
|-----------------------|-----------|-----------|-----------|
| 自己資本比率 (%)            | 27.7      | 26.2      | 18.8      |
| 時価ベースの自己資本比率 (%)      | 56.3      | 61.7      | 37.9      |
| キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年) | 0.6       | 0.9       | 0.8       |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)  | 317.3     | 283.8     | 472.5     |

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに算出しております。

2. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

3. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つとして認識しており、中長期的な企業価値の増大が利益還元の最大の源泉になるものと考えております。配当政策につきましては、将来の企業価値の増大に向けた事業展開のための内部留保を図るとともに、当社の財務状況、収益動向及び配当性向等を総合的に判断しつつ、継続的かつ安定的な配当を行う方針であります。

これらの剰余金の配当の決定機関は、期末配当については株主総会、中間配当については取締役会であります。

当期の配当金につきましては、基本方針及び当事業年度の業績を勘案し、期末配当金を1株当たり12円とし、既に行っております中間配当金12円とあわせて、当期の年間配当金は1株当たり24円を予定しております。次期（第51期）につきましては、1株につき普通配当25円（中間配当1株当たり普通配当12円）を予定しております。

(4) 事業等のリスク

当社グループの事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、業績に影響を及ぼす可能性がある事項であり、投資家の判断に重大な影響を及ぼす可能性のある事項は、以下のとおりであります。

なお、文中の将来に関する事項は、本決算短信発表日現在において判断したものであります。

①事業環境等の影響

近年、当社グループが所属する情報サービス業界においては、競合商品とのサービスや価格競争の激化、急速な技術革新、お客様の属する業界の経営環境、業容及びニーズ等の変化が続いております。当社グループはこのような変化に即応するため、経営体質の改善、新技術の習得及び人材の補強などに努めておりますが、著しい経済情勢の変化等により、当社グループを取り巻く事業環境が急激に変化した場合、当社グループの業績に大きな影響を及ぼす可能性があります。

②システム開発の受託におけるリスクについての影響

当社グループが行う受託システム開発においては、プロジェクト管理者が品質・納期・コスト・リスク等の管理を行うとともに、プロジェクト管理システム等で工期や費用の費消の状況をモニタリングしております。しかしながら、システム開発受託の大型案件において契約の受注時に採算性が見込まれるプロジェクトであっても、開発中の大幅な仕様変更等が発生し、作業工数が当初の見積り以上に増加することにより、最終的に案件が不採算化することがあります。また、長期のプロジェクトは環境や技術の変化に応じた諸要件の変更が生ずる可能性があると考えられます。このような大幅な仕様変更や諸要件の変更あるいは品質上のトラブルが発生した場合、結果的にお客様と合意した納期の未達成等が起り、売上計上の遅延、追加コストの発生や損害賠償等により、当社グループの業績に大きな影響を及ぼす可能性があります。

③人材確保等の影響

当社グループにおいては、お客様の高度で多様化するニーズにお応えするためには、優秀な技術者の確保が最重要課題であり、採用活動への積極的な取り組み、人材の育成と実務能力の向上を目的とした教育制度を充実させるとともに、具体的な人材配置においても社内外からの適材の手配を行っております。しかしながら、案件が技術的にも高度化・複雑化することに伴い、当社が必要とする適材の確保が難しい場合、失注や受注規模の縮小などによる売上減少など当社グループの業績に大きな影響を及ぼす可能性があります。

④情報漏洩等の影響

当社グループでは、お客様のシステムの運用・保守、データの加工・処理を主要業務の一つとしております。これら業務においては、個人情報、あるいはお客様にとって価値の高い情報を取り扱っております。当社グループはプライバシーマーク認定事業者の資格並びにISO/IEC 27001（情報セキュリティマネジメントシステム）の認証を取得し、それらの規格基準に沿って日常業務で各種のセキュリティ管理策を講じ、個人情報を含む情報資源管理を実施し、情報漏洩等のリスクの回避を行っております。しかしながら、阪神淡路大震災や東日本大震災と同等クラスの大規模な災害による人的・設備資源の滅失、当社グループの情報セキュリティ管理策を破る予想し得ない悪意による行為等により、情報資源の漏洩、破壊等の事故が発生した場合、当社の信用を失墜させることになりかねないとともに、損害賠償等により当社グループの業績に大きな影響を及ぼす可能性があります。

⑤ I S O / I E C 2 7 0 0 1、プライバシーマーク企業の認定制度について

当社グループでは、I S O / I E C 2 7 0 0 1について平成15年に認証を取得し、以降3年ごとに更新審査を受けており、平成25年11月に稼働しました東濃データセンターにおいても平成26年2月に認証を取得しております。また、プライバシーマーク制度に基づく認定についても平成17年に取得し、以降2年ごとに更新を受けております。

いずれも情報セキュリティのリスクの軽減を図り、コンプライアンスの徹底を期していくとの経営方針に基づいて取り組んでおり、これが取引先から信用を頂くための基盤となっておりますが、何らかの事情で資格の更新ができない場合は、当社グループの業績に大きな影響を及ぼす可能性があります。

⑥ 法的規制について

当社グループでは、情報サービス事業のシステム開発などにおいてユーザー内にプロジェクトチームを編成して業務を行う場合、あるいは当社グループ内に協力会社要員を受け入れて業務を行う場合には、「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の就業条件の整備等に関する法律」（以下「労働者派遣法」という。）などの関係法規の遵守に努めておりますが、何らかの事情で、取引先や協力会社において適格要件を欠くなどの労働者派遣法違反や偽装請負問題などが発生しますと、当社の社会的な信用を失墜させられることになりかねないとともに、当社グループの業績に大きな影響を及ぼす可能性があります。

また、収納代行サービス事業において、平成22年4月に施行された「資金決済に関する法律」（以下「資金決済法」という。）は、資金決済システムの安全性、効率性及び利便性の向上に資することを目的とするとしており、さらに、金融商品取引法等の一部を改正する法律及び資金決済に関する法律に対する附帯決議において、資金移動業者に対する検査・監督を適切に実施するとともに、これらの業者を含めた新しいサービスの担い手について、その実態を適切に把握し、滞留資金の保全・返金、資金決済の確実な履行の確保等の資金決済に関する制度について検討し、決済システムの安全性、効率性及び利便性の一層の向上を図るよう努めることとされていることから、将来において本法の改正等により収納代行サービス事業の運営が制約された場合、当社グループの業績に大きな影響を及ぼす可能性があります。

⑦ 外注依存度の高さについて

当社グループでは、システム開発業務においてプロパー社員1人に対して0.8人程度の協力会社要員を起用して業務を遂行しており、事業の継続及び拡大において協力会社要員の存在は重要な位置付けを有しております。また、協力会社の起用においては、技術者間及び企業間の長期にわたる信頼関係をベースにしております。

しかしながら、協力会社要員の価格高騰や著しい質の低下等、何らかの事情で当社との取引を停止せざるを得ない状況が発生しますと、当社グループの業績に大きな影響を及ぼす可能性があります。

⑧ 大手ユーザーとの関係について

当連結会計年度の売上高に占める大手ユーザーの割合は、主要10社で18.6%となっておりますが、これらの企業とは、永年良好な人的ネットワークが形成されており、業務の拡大や深耕に重要な役割を果たしております。それらの人的ネットワークが、何らかの事情で継続が困難な状況が発生しますと、当社グループの業績に大きな影響を及ぼす可能性があります。

⑨ 収納代行サービス事業におけるコンビニエンスストアへの依存度について

当社グループでは、収納代行サービス事業において大手コンビニエンスストアを含む全国のコンビニエンスストア本部と料金収納契約を結んでおりますが、何らかの事情で契約の継続が困難な状況が発生しますと、当社グループの業績に大きな影響を及ぼす可能性があります。

⑩ 収納代行サービス事業におけるユーザーとコンビニエンスストアの直接契約への切り替えについて

当社グループでは、収納代行サービス事業においてユーザーの開拓に努め、継続的なサービスの提供を意図しておりますが、特定のユーザーにおけるコンビニエンスストアでの取扱件数が突出して増大化し、当該ユーザーとコンビニエンスストアとの直接契約への切り替えが生じた場合には、当社グループの業績に大きな影響を及ぼす可能性があります。

⑪ 収納代行サービス事業における革新的技術の出現について

当社グループでは、収納代行サービス事業において、払込票によるコンビニエンスストア店頭や郵便局窓口でのサービス形態を主体としておりますが、何らかの革新的な仮想通貨や電子マネー技術及びモバイル技術の出現とそれらが収納代行の中心的方法に置き換わったり、それに伴う強力な収納代行業者の進出などの状況が発生しますと、当社グループの業績に大きな影響を及ぼす可能性があります。



⑫国際送金サービスの不正利用について

当社はThe WesternUnion Companyのフレームワークを活用し、国際送金サービスを消費者の皆様にご利用いただいておりますが、悪意による行為等により不正に利用されトラブルが発生した場合、また、The WesternUnion Companyのシステムトラブル等の影響から、コンビニエンスストアとの契約の継続が困難となった場合には、レピュテーションリスクによる当社の他事業へも影響を及ぼす可能性があり、その結果、当社グループの業績に大きな影響を及ぼす可能性があります。

⑬収納代行サービス事業におけるインフラ障害について

当社グループでは、収納代行サービス事業の拡大に伴い、多額の預り金を一時的に当社グループの銀行口座（金銭信託）に預け入れ、当社グループの取引先に送金しておりますが、何らかの事情でコンビニエンスストアの倒産に伴う未入金や当社グループシステム障害などでの誤送金などのトラブルが生じると、当社グループの業績に大きな影響を及ぼす可能性があります。

⑭財務構成について

当社グループでは、収納代行サービス事業による多額の預り金を貸借対照表の流動負債勘定に計上しているため、自己資本比率など一部の財務指標の評価が低下する傾向にあります。これが何らかの事情で当社の財務体質評価の悪化につながる場合には、当社グループの業績に大きな影響を及ぼす可能性があります。

⑮事業譲受の実行について

当社グループでは、人材の確保及び取引先の拡大を意図し、事業譲受あるいは事業の買収等を計画して、事業の継承及び人材の定着並びに能力発揮について万全を期して対応していく方針ですが、何らかの事情で人材の定着歩留まり率の悪化が生じると、当社グループの業績に大きな影響を及ぼす可能性があります。

⑯投資の減損について

当社グループでは、投資価値の下落が著しく、かつ回復の可能性がないと判断した場合、投資の減損を計上しております。時価のある有価証券については、時価が取得価額に比して50%以上下落している場合、回復の可能性はないものと判断し、また30%～50%程度下落している場合には、回復可能性を慎重に検討することとしております。非上場会社への投資の場合、当該会社の財政状態の悪化によりその純資産価額が取得価額に比して50%以上下落した場合に通常回復の可能性がないものと判断しております。

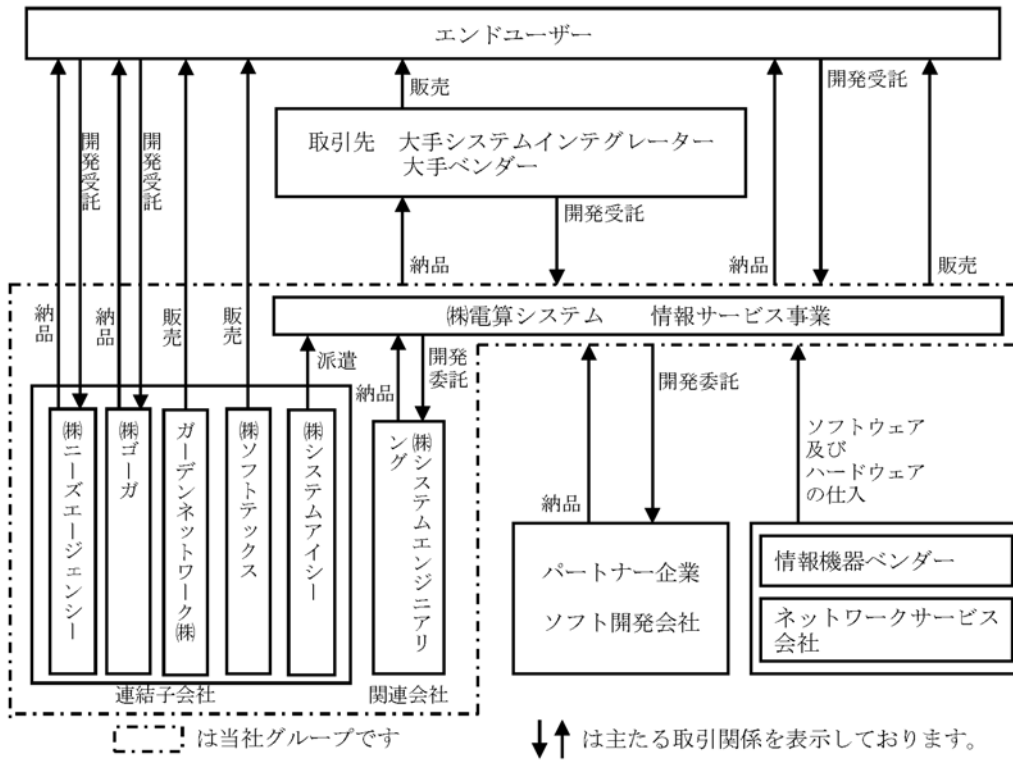
当連結会計年度においては、時価のある有価証券について期末日の市場価格に基づき評価差額を計上しておりますが、将来の市況悪化、業績不振等により現在の帳簿価額に反映されていない損失又は投資簿価の回収不能が発生し、投資の減損が必要となりますと、当社グループの業績に大きな影響を及ぼす可能性があります。

⑰ソフトウェアの減損について

当社グループでは、ソフトウェア（ソフトウェア仮勘定を含む）については、将来の収益獲得または費用削減が確実であると認められたものを資産計上しております。しかしながら、大規模なソフトウェアにおいて計画の変更、使用状況の見直し等により収益獲得または費用削減効果が損なわれ、資産の償却または減損が必要となりますと、当社グループの業績に大きな影響を及ぼす可能性があります。

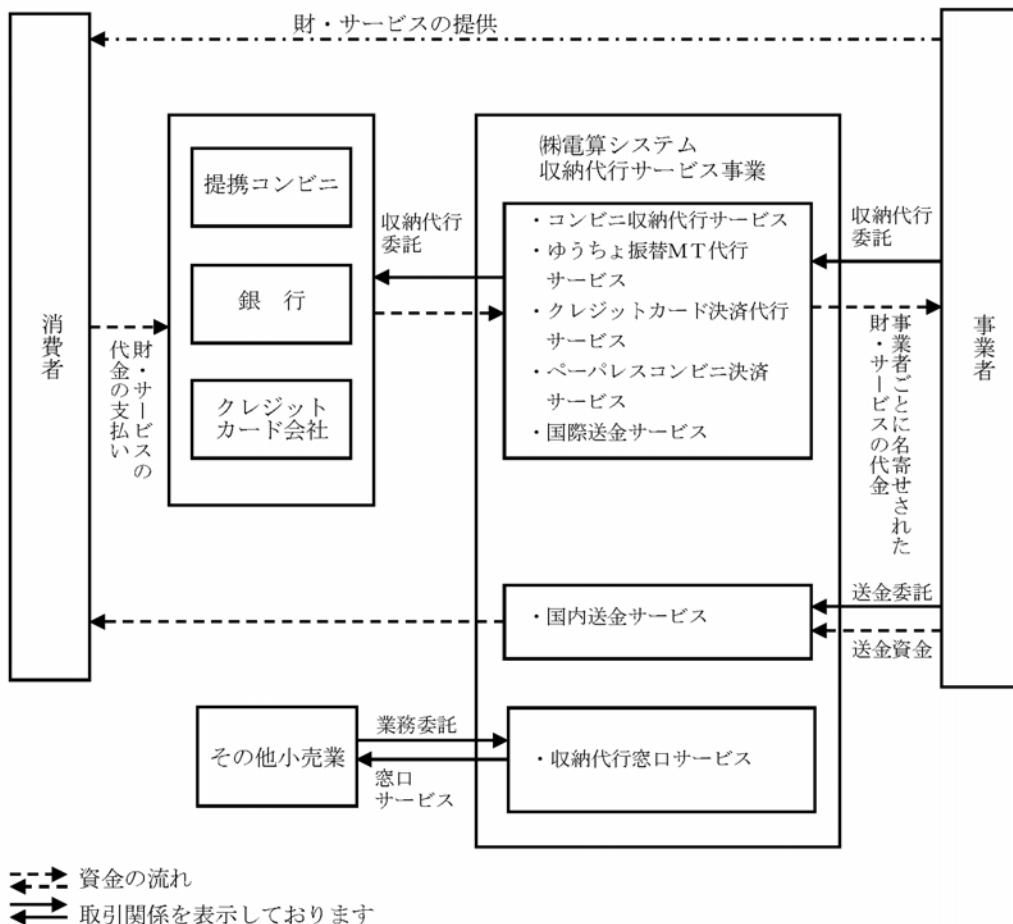
2. 企業集団の状況

<情報サービス事業>



※ 関連会社である株式会社システムエンジニアリングは持分法適用関連会社であります。

<収納代行サービス事業>



### 3. 経営方針

#### (1) 会社の経営の基本方針

当社グループにおける経営の基本理念と、それに基づく経営の基本方針は次のとおりであります。

##### ①経営の基本理念

「新しい価値の創造」(ミッション)により、顧客に感動を、社員に夢を、株主に満足をもたらす経営を目指すことを基本理念としております。また、創業以来「独立・独歩・独創」の精神を掲げ事業展開を行っております。

##### ②経営基本方針

###### (a) CHALLENGE・INNOVATION・SPEED (より高く、より良く、より速く)

成長を目指して「チャレンジ」を、事業改革強化に「イノベーション」を、競争力強化に「スピード」を、経営の基本方針としております。

###### (b) ベストソリューションの提供

当社グループの責務は顧客のニーズに応える「ベストソリューション」の提供であり、独創的なアイデアに基づく技術・スタッフ・サービスの三位一体でさらに付加価値を高めます。

#### (2) 目標とする経営指標

当社グループは、継続的な事業規模の拡大を通じて企業価値を向上し、社会的貢献を目指す経営を目標としております。

経営指標としては、事業の活動状況を表す売上高及び事業の収益力を表す営業利益及びキャッシュ・フローを重視し、これらの拡大を目指しております。

#### (3) 中長期的な会社の経営戦略

当社グループは、大手得意先のIT投資の抑制や他社との価格競争にさらされ、依然として厳しい経営環境に直面しておりますが、情報サービス事業分野では組織の統合やリーダーの若返りなど構造的な改革を進めるとともに、技術力・品質を高め、以下の施策を推進し事業の拡大を目指します。

##### ①創業から培ったBPO(ビジネスプロセスアウトソーシング)事業におけるサービスの拡大

##### ②受託ソフト開発の高生産性を目指し、プロジェクトマネージャーの一層の育成を図るとともに、パートナーとの連携を強化

##### ③ERP(統合基幹業務システム)並びにモバイルアプリ(スマートフォン、タブレット等)の技術導入及び要員育成などを通じて、新たな主要顧客の開拓

##### ④子会社㈱ソフトテックスとの協業による歯科医向けパッケージソフトウェア販売強化、及びガーデンネットワーク㈱との協業によるエネルギー業界への情報処理業務拡大、さらには㈱ゴーガとの協業による位置情報活用システム提案

##### ⑤IDC(データセンター)事業を中核としたクラウドサービス事業の拡大

上記の施策の下、IT投資の復調の兆しやクラウドコンピューティングの進展を見据えながら、中長期的な視点での事業拡大や財務体質の強化を進めていきたいと考えております。

一方において、当社グループ成長の牽引力としての役割を担ってきた収納代行サービス事業についても、以下の施策を推進し事業の拡大を目指します。

##### ①ペーパーレス決済サービスの強化・拡大

##### ②決済周辺サービスの提供

##### ③資金決済法に対応した国内送金(DSKスマート送金)及び国際送金(コンビニ・ウエスタンユニオン)などの決済サービス事業の拡大

##### ④海外での事業展開の実現

上記に加え、人材を適材適所に配置して効果的な業務運営を図り、外部との連携をより進めて新たなサービスを創出し、当社グループ成長の牽引力としての役割を確固たるものにし、決済のリーディングカンパニーを目指していきたいと考えております。

(4) 会社の対処すべき課題

あらゆるモノがインターネットでつながる I o T。I o Tの活用による第4次産業革命の幕が開きました。この創造的破壊により産業が総デジタル化の波による新たなテクノロジーの時代が到来し、新しいサービスやビジネスモデルの創造が期待されております。

このような中、I T市場は2019年をピークに縮小に転じ、これまでのような大口投資は、全盛期に比べ激減するものと予想されております。これはすなわち、ソフト開発事業の崩壊であり、まさにこれからが正念場であります。

この革命的变化が予測される中で、当社グループは「従来の延長線上で、競争に勝ち抜くことはできない」と考えており、グループ一丸となって迅速かつ円滑な事業運営を目指すことが重要であると認識しております。

このような背景を踏まえ、今後当社グループが持続的成長を目指して取るべき成長戦略は以下のとおりであります。

①資本業務提携による成長市場の開拓

当社グループの成長の源泉は、売上高の拡大にあります。そのためにはいかに新たなサービスや商品を創出（成長のエンジン）するかが最重要課題であります。このため、当社グループは、従来の延長線上では競争に勝ち抜くことはできないとの認識に立ち、激変する技術や社会に対応するため成長著しい分野については積極的に資本業務提携を進め、スピーディに成長戦略の強化を図ってまいります。

②M&Aによる速やかな業務拡大

世界企業によるM&Aは過去最高のペースで加速しており、国内企業においても成長戦略として必須の課題となっています。

特に、第4次産業革命の幕が開けた今、その革命の変化に対応（人材、資金、時間等の確保を含め）すべく迅速かつ果敢に挑戦することが必要であることを認識し、当社の既存ブランドを補完しながら成長する機会を得る「業態変革」を目指す手段として、M&Aを進めてまいります。

③海外展開の強化

当社が手がけてきた収納代行サービスは、当社の業績拡大に貢献してきましたが、国内でのサービスは飽和状態にありますので、培ってきた I T技術と収納代行サービスのノウハウを海外で展開することにより、新しい市場の開拓を目指す必要があります。

そのため、まずは収納代行を切り口としてフィリピンで展開することにより決済サービスの更なる拡大を目指してまいります。

④プロジェクトマネジメントやリスクマネジメントの高度化と深耕

お客様から求められるより高度なニーズに対応するために、サービスをご提供する部門及びシステム開発部門の内部管理を徹底し、新たな技術の習得に努めるとともに、営業部門とのコミュニケーションや連携を強化し、お客様のニーズを的確に把握し迅速かつ有効的な対応を行うことで、不採算プロジェクト並びに納期遅延・品質等のリスクの早期発見と適切な措置等、徹底したリスク管理に取り組み、お客様の満足度や信頼性の向上を図ってまいります。

⑤持続的成長を担う人材育成

会社の成長のエンジンは「人」にあり、特に新ビジネスの創出には人づくりが欠かせないとの認識に立って社員の教育を急ぐ必要があります。

一方、今後急速に成長が見込まれる A I や I o T分野では、人材の獲得競争が過熱しており、社内外での人材確保と育成が急務であります。このため、専門技術教育から人間力の強化に至るまで幅広い課題に対応した体系的な人材育成に力を注いでまいります。

(5) その他、会社の経営上重要な事項

該当事項はありません。

4. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成しております。国際会計基準の適用につきましては、今後の我が国における会計基準の動向等を勘案し対応してまいります。

5. 連結財務諸表

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

|             | 前連結会計年度<br>(平成27年12月31日) | 当連結会計年度<br>(平成28年12月31日) |
|-------------|--------------------------|--------------------------|
| <b>資産の部</b> |                          |                          |
| 流動資産        |                          |                          |
| 現金及び預金      | 4,951,758                | 5,655,401                |
| 金銭の信託       | 14,830,419               | 27,738,973               |
| 受取手形及び売掛金   | 4,569,459                | 4,906,446                |
| 有価証券        | 30,000                   | —                        |
| 商品          | 40,203                   | 110,909                  |
| 仕掛品         | 547,429                  | 518,100                  |
| 前払費用        | 468,049                  | 628,652                  |
| 繰延税金資産      | 44,198                   | 62,678                   |
| その他         | 28,151                   | 125,537                  |
| 貸倒引当金       | △463                     | △500                     |
| 流動資産合計      | 25,509,205               | 39,746,199               |
| 固定資産        |                          |                          |
| 有形固定資産      |                          |                          |
| 建物及び構築物（純額） | 1,329,135                | 1,215,438                |
| 土地          | 792,557                  | 791,098                  |
| その他（純額）     | 652,414                  | 766,150                  |
| 有形固定資産合計    | 2,774,107                | 2,772,686                |
| 無形固定資産      |                          |                          |
| のれん         | 16,395                   | 445,524                  |
| ソフトウェア      | 440,428                  | 551,591                  |
| ソフトウェア仮勘定   | 124,609                  | 158,217                  |
| その他         | 12,529                   | 48                       |
| 無形固定資産合計    | 593,961                  | 1,155,382                |
| 投資その他の資産    |                          |                          |
| 投資有価証券      | 862,726                  | 931,238                  |
| 繰延税金資産      | 7,174                    | 7,640                    |
| 差入保証金       | 290,327                  | 337,768                  |
| その他         | 27,326                   | 40,414                   |
| 貸倒引当金       | △235                     | △239                     |
| 投資その他の資産合計  | 1,187,319                | 1,316,823                |
| 固定資産合計      | 4,555,389                | 5,244,893                |
| 資産合計        | 30,064,594               | 44,991,092               |

(単位：千円)

|               | 前連結会計年度<br>(平成27年12月31日) | 当連結会計年度<br>(平成28年12月31日) |
|---------------|--------------------------|--------------------------|
| <b>負債の部</b>   |                          |                          |
| 流動負債          |                          |                          |
| 買掛金           | 2,212,615                | 2,288,587                |
| 短期借入金         | 233,417                  | 20,990                   |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 167,232                  | 241,118                  |
| 未払法人税等        | 160,100                  | 330,615                  |
| 収納代行預り金       | 17,147,517               | 30,504,227               |
| 賞与引当金         | 5,250                    | 3,483                    |
| 役員賞与引当金       | 1,000                    | 1,000                    |
| 受注損失引当金       | 1,800                    | —                        |
| 株主優待引当金       | 47,000                   | 50,028                   |
| 債務保証損失引当金     | —                        | 43,619                   |
| その他           | 1,254,310                | 1,528,690                |
| 流動負債合計        | 21,230,244               | 35,012,360               |
| 固定負債          |                          |                          |
| 長期借入金         | 342,402                  | 828,624                  |
| 繰延税金負債        | 62,174                   | 39,211                   |
| 役員退職慰労引当金     | 213,831                  | 235,729                  |
| 退職給付に係る負債     | 39,307                   | 22,409                   |
| 資産除去債務        | 12,129                   | 12,279                   |
| その他           | 190,060                  | 227,051                  |
| 固定負債合計        | 859,905                  | 1,365,305                |
| 負債合計          | 22,090,149               | 36,377,666               |
| 純資産の部         |                          |                          |
| 株主資本          |                          |                          |
| 資本金           | 1,227,363                | 1,229,213                |
| 資本剰余金         | 927,219                  | 929,069                  |
| 利益剰余金         | 5,810,305                | 6,307,977                |
| 自己株式          | △307,282                 | △182,204                 |
| 株主資本合計        | 7,657,605                | 8,284,054                |
| その他の包括利益累計額   |                          |                          |
| その他有価証券評価差額金  | 209,689                  | 161,288                  |
| 繰延ヘッジ損益       | —                        | △1,630                   |
| その他の包括利益累計額合計 | 209,689                  | 159,658                  |
| 非支配株主持分       | 107,149                  | 169,713                  |
| 純資産合計         | 7,974,445                | 8,613,426                |
| 負債純資産合計       | 30,064,594               | 44,991,092               |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

|   | 前連結会計年度<br>(自 平成27年1月1日<br>至 平成27年12月31日) | 当連結会計年度<br>(自 平成28年1月1日<br>至 平成28年12月31日) |
|---|---|---|
| 売上高                                     | 28,956,596                                | 30,369,587                                |
| 売上原価                                    | 24,297,084                                | 25,365,088                                |
| 売上総利益                                   | 4,659,511                                 | 5,004,498                                 |
| 販売費及び一般管理費                              | 3,617,313                                 | 3,878,891                                 |
| 営業利益                                    | 1,042,197                                 | 1,125,606                                 |
| 営業外収益                                   |   |   |
| 受取利息                                    | 3,873                                     | 2,403                                     |
| 受取配当金                                   | 14,600                                    | 13,484                                    |
| 持分法による投資利益                              | 1,506                                     | 1,438                                     |
| 受取手数料                                   | 1,825                                     | 7,941                                     |
| 助成金収入                                   | 3,600                                     | —   |
| 投資有価証券売却益                               | 1,447                                     | —   |
| 為替差益                                    | 2,339                                     | 9,026                                     |
| 未払配当金除斥益                                | 278                                       | 344                                       |
| その他                                     | 3,204                                     | 2,418                                     |
| 営業外収益合計                                 | 32,676                                    | 37,058                                    |
| 営業外費用                                   |   |   |
| 支払利息                                    | 2,927                                     | 2,862                                     |
| 投資事業組合運用損                               | —   | 2,660                                     |
| 営業外費用合計                                 | 2,927                                     | 5,523                                     |
| 経常利益                                    | 1,071,947                                 | 1,157,141                                 |
| 特別利益                                    |   |   |
| 補助金収入                                   | —   | 112,481                                   |
| 投資有価証券売却益                               | —   | 35,770                                    |
| 特別利益合計                                  | —   | 148,251                                   |
| 特別損失                                    |   |   |
| 固定資産圧縮損                                 | —   | 92,572                                    |
| 債務保証損失引当金繰入額                            | —   | 43,619                                    |
| 特別損失合計                                  | —   | 136,192                                   |
| 税金等調整前当期純利益                             | 1,071,947                                 | 1,169,199                                 |
| 法人税、住民税及び事業税                            | 376,389                                   | 470,983                                   |
| 法人税等調整額                                 | 29,477                                    | △34,063                                   |
| 法人税等合計                                  | 405,867                                   | 436,919                                   |
| 当期純利益                                   | 666,080                                   | 732,279                                   |
| 非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に<br>帰属する当期純損失(△) | 5,698                                     | △81                                       |
| 親会社株主に帰属する当期純利益                         | 660,382                                   | 732,361                                   |

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

|              | 前連結会計年度<br>(自 平成27年1月1日<br>至 平成27年12月31日) | 当連結会計年度<br>(自 平成28年1月1日<br>至 平成28年12月31日) |
|--------------|---|---|
| 当期純利益        | 666,080                                   | 732,279                                   |
| その他の包括利益     |   |   |
| その他有価証券評価差額金 | 54,370                                    | △48,400                                   |
| 繰延ヘッジ損益      | 7   | △1,630                                    |
| その他の包括利益合計   | 54,377                                    | △50,031                                   |
| 包括利益         | 720,457                                   | 682,248                                   |
| (内訳)         |   |   |
| 親会社株主に係る包括利益 | 714,759                                   | 682,329                                   |
| 非支配株主に係る包括利益 | 5,698                                     | △81                                       |



(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 平成27年1月1日 至 平成27年12月31日)

(単位: 千円)

|                      | 株主資本      |         |           |          |           |
|----------------------|-----------|---------|-----------|----------|-----------|
|                      | 資本金       | 資本剰余金   | 利益剰余金     | 自己株式     | 株主資本合計    |
| 当期首残高                | 1,220,485 | 920,341 | 5,364,725 | △84,347  | 7,421,204 |
| 当期変動額                |           |         |           |          |           |
| 新株の発行 (新株予約権の行使)     | 6,878     | 6,878   |           |          | 13,756    |
| 剰余金の配当               |           |         | △214,802  |          | △214,802  |
| 親会社株主に帰属する当期純利益      |           |         | 660,382   |          | 660,382   |
| 自己株式の取得              |           |         |           | △254,615 | △254,615  |
| 自己株式の処分              |           |         |           | 31,680   | 31,680    |
| 株主資本以外の項目の当期変動額 (純額) |           |         |           |          |           |
| 当期変動額合計              | 6,878     | 6,878   | 445,579   | △222,935 | 236,401   |
| 当期末残高                | 1,227,363 | 927,219 | 5,810,305 | △307,282 | 7,657,605 |

|                      | その他の包括利益累計額  |         |               | 非支配株主持分 | 純資産合計     |
|----------------------|--------------|---------|---------------|---------|-----------|
|                      | その他有価証券評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | その他の包括利益累計額合計 |         |           |
| 当期首残高                | 155,319      | △7      | 155,312       | 102,351 | 7,678,868 |
| 当期変動額                |              |         |               |         |           |
| 新株の発行 (新株予約権の行使)     |              |         |               |         | 13,756    |
| 剰余金の配当               |              |         |               |         | △214,802  |
| 親会社株主に帰属する当期純利益      |              |         |               |         | 660,382   |
| 自己株式の取得              |              |         |               |         | △254,615  |
| 自己株式の処分              |              |         |               |         | 31,680    |
| 株主資本以外の項目の当期変動額 (純額) | 54,370       | 7       | 54,377        | 4,798   | 59,175    |
| 当期変動額合計              | 54,370       | 7       | 54,377        | 4,798   | 295,576   |
| 当期末残高                | 209,689      | —       | 209,689       | 107,149 | 7,974,445 |

当連結会計年度（自 平成28年1月1日 至 平成28年12月31日）

（単位：千円）

|                     | 株主資本      |         |           |          |           |
|---------------------|-----------|---------|-----------|----------|-----------|
|                     | 資本金       | 資本剰余金   | 利益剰余金     | 自己株式     | 株主資本合計    |
| 当期首残高               | 1,227,363 | 927,219 | 5,810,305 | △307,282 | 7,657,605 |
| 当期変動額               |           |         |           |          |           |
| 新株の発行（新株予約権の行使）     | 1,849     | 1,849   |           |          | 3,699     |
| 剰余金の配当              |           |         | △234,689  |          | △234,689  |
| 親会社株主に帰属する当期純利益     |           |         | 732,361   |          | 732,361   |
| 自己株式の取得             |           |         |           |          |           |
| 自己株式の処分             |           |         |           | 125,078  | 125,078   |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） |           |         |           |          |           |
| 当期変動額合計             | 1,849     | 1,849   | 497,671   | 125,078  | 626,448   |
| 当期末残高               | 1,229,213 | 929,069 | 6,307,977 | △182,204 | 8,284,054 |

|                     | その他の包括利益累計額  |         |               | 非支配株主持分 | 純資産合計     |
|---------------------|--------------|---------|---------------|---------|-----------|
|                     | その他有価証券評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | その他の包括利益累計額合計 |         |           |
| 当期首残高               | 209,689      | —       | 209,689       | 107,149 | 7,974,445 |
| 当期変動額               |              |         |               |         |           |
| 新株の発行（新株予約権の行使）     |              |         |               |         | 3,699     |
| 剰余金の配当              |              |         |               |         | △234,689  |
| 親会社株主に帰属する当期純利益     |              |         |               |         | 732,361   |
| 自己株式の取得             |              |         |               |         |           |
| 自己株式の処分             |              |         |               |         | 125,078   |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | △48,400      | △1,630  | △50,031       | 62,563  | 12,532    |
| 当期変動額合計             | △48,400      | △1,630  | △50,031       | 62,563  | 638,980   |
| 当期末残高               | 161,288      | △1,630  | 159,658       | 169,713 | 8,613,426 |

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

|                         | 前連結会計年度<br>(自 平成27年1月1日<br>至 平成27年12月31日) | 当連結会計年度<br>(自 平成28年1月1日<br>至 平成28年12月31日) |
|-------------------------|---|---|
| <b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b> |   |   |
| 税金等調整前当期純利益             | 1,071,947                                 | 1,169,199                                 |
| 減価償却費                   | 496,706                                   | 492,991                                   |
| のれん償却額                  | 7,337                                     | 15,806                                    |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少)        | △841                                      | 41  |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少)        | △57                                       | △9,315                                    |
| 受注損失引当金の増減額 (△は減少)      | 1,800                                     | △1,800                                    |
| 株主優待引当金の増減額 (△は減少)      | △795                                      | 3,028                                     |
| 債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)    | —   | 43,619                                    |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)    | 11,966                                    | 7,598                                     |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)    | 3,071                                     | △16,897                                   |
| 受取利息及び受取配当金             | △18,474                                   | △15,888                                   |
| 支払利息                    | 2,927                                     | 2,862                                     |
| 持分法による投資損益 (△は益)        | △1,506                                    | △1,438                                    |
| 為替差損益 (△は益)             | —   | △663                                      |
| 投資事業組合運用損益 (△は益)        | —   | 2,660                                     |
| 投資有価証券売却損益 (△は益)        | △1,447                                    | △35,770                                   |
| 補助金収入                   | —   | △112,481                                  |
| 固定資産圧縮損                 | —   | 92,572                                    |
| 売上債権の増減額 (△は増加)         | △320,980                                  | △189,705                                  |
| たな卸資産の増減額 (△は増加)        | 76,296                                    | △41,376                                   |
| 仕入債務の増減額 (△は減少)         | 195,801                                   | 66,036                                    |
| 未払金の増減額 (△は減少)          | △11,595                                   | 63,964                                    |
| 前払費用の増減額 (△は増加)         | △329,112                                  | △155,090                                  |
| その他の流動負債の増減額 (△は減少)     | 55,971                                    | 194,921                                   |
| その他                     | 46,275                                    | 1,371                                     |
| 小計                      | 1,285,290                                 | 1,576,247                                 |
| 利息及び配当金の受取額             | 18,990                                    | 17,831                                    |
| 利息の支払額                  | △2,841                                    | △2,866                                    |
| 補助金の受取額                 | —   | 100,000                                   |
| 法人税等の支払額                | △494,830                                  | △336,865                                  |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー        | 806,608                                   | 1,354,347                                 |

(単位：千円)

|                              | 前連結会計年度<br>(自 平成27年1月1日<br>至 平成27年12月31日) | 当連結会計年度<br>(自 平成28年1月1日<br>至 平成28年12月31日) |
|------------------------------|---|---|
| <b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>      |   |   |
| 定期預金の預入による支出                 | △103,039                                  | △103,040                                  |
| 定期預金の払戻による収入                 | 103,039                                   | 103,040                                   |
| 有形固定資産の取得による支出               | △414,606                                  | △373,988                                  |
| 有形固定資産の売却による収入               | 4,940                                     | —   |
| 無形固定資産の取得による支出               | △405,097                                  | △325,497                                  |
| 有価証券の売却による収入                 | —   | 30,060                                    |
| 投資有価証券の取得による支出               | △84,260                                   | △204,454                                  |
| 投資有価証券の売却による収入               | 208,511                                   | 52,570                                    |
| 投資有価証券の償還による収入               | —   | 50,000                                    |
| 保険積立金の解約による収入                | —   | 34,474                                    |
| 敷金及び保証金の差入による支出              | △127,463                                  | △502                                      |
| 敷金及び保証金の回収による収入              | 138,778                                   | 2,281                                     |
| 会員権の取得による支出                  | △6,000                                    | —   |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による<br>支出 | —   | △382,983                                  |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー             | △685,197                                  | △1,118,039                                |
| <b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>      |   |   |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少)            | 213,417                                   | △212,427                                  |
| 長期借入れによる収入                   | 256,000                                   | 820,000                                   |
| 長期借入金の返済による支出                | △380,402                                  | △439,719                                  |
| 新株予約権の行使による株式の発行による収入        | 13,756                                    | 3,699                                     |
| 自己株式の取得による支出                 | △254,615                                  | —   |
| 自己株式の売却による収入                 | 31,680                                    | 81,458                                    |
| 配当金の支払額                      | △214,789                                  | △234,046                                  |
| 非支配株主への配当金の支払額               | △900                                      | △450                                      |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー             | △335,852                                  | 18,514                                    |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額             | —   | 663                                       |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)         | △214,441                                  | 255,485                                   |
| 現金及び現金同等物の期首残高               | 2,746,062                                 | 2,531,621                                 |
| 現金及び現金同等物の期末残高               | 2,531,621                                 | 2,787,106                                 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1 連結の範囲に関する事項

すべての子会社を連結しております。

連結子会社の数 6社

連結子会社の名称

(株)システムアイシー

(株)ソフトテックス

(株)ニーズエージェンシー

ガーデンネットワーク(株)

(株)ゴーガ

(株)ゴーガ解析コンサルティング

平成28年10月3日に株式会社ゴーガの株式を取得したため、同社とその子会社である株式会社ゴーガ解析コンサルティングを第4四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

2 持分法の適用に関する事項

すべての関連会社に持分法を適用しております。

持分法適用の関連会社数 1社

持分法適用会社の名称

(株)システムエンジニアリング

3 連結子会社の事業年度等に関する事項

すべての連結子会社の事業年度の末日は、連結決算日と一致しております。

4 会計処理基準に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券

その他有価証券

時価のあるもの

期末日の市場価格等に基づく時価法を採用しております。

(なお、評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定しております。)

時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

② デリバティブ

時価法を採用しております。

③ たな卸資産

a 商品

総平均法による原価法(収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)を採用しております。

b 仕掛品

個別法による原価法(収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)を採用しております。

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は、以下のとおりです。

建物及び構築物・・・10～50年

その他・・・・・・・・・・3～10年

② 無形固定資産

定額法を採用しております。

a 市場販売目的のソフトウェアについては、見込販売収益に基づく償却額と当該ソフトウェア残存期間(3年)に基づく定額法償却額とのいずれか大きい額を計上する方法を採用しております。

b 自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づいております。

(3) 重要な引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については、貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

一部の連結子会社の従業員に支給する賞与に充てるため、支給見込額のうち当連結会計年度の負担額を計上しております。

③ 役員賞与引当金

一部の連結子会社の役員に支給する賞与に充てるため、支給見込額のうち当連結会計年度の負担額を計上しております。

④ 受注損失引当金

受注契約に係る将来の損失に備えるため、当連結会計年度末時点で将来の損失が見込まれ、かつ、当該損失金額が合理的に見積もることが可能なものについて、翌連結会計年度以降に発生が見込まれる損失額を計上しております。

⑤ 株主優待引当金

将来の株主優待制度の利用に備えるため、当連結会計年度における株主優待制度の利用見込額を計上しております。

⑥ 債務保証損失引当金

従業員持株会信託の借入債務の弁済に備えるため、当該弁済見込額を計上しております。

⑦ 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

(4) 退職給付に係る会計処理の方法

一部の連結子会社は、退職給付に係る負債及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

(5) 重要なヘッジ会計の方法

① ヘッジ会計の方法

繰延ヘッジ処理によっております。また、為替変動リスクのヘッジについて振当処理の要件を充たしている場合には振当処理を採用しております。

② ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段 為替予約

ヘッジ対象 外貨建の買掛金（予定取引）

③ ヘッジ方針

社内管理規程に基づき為替変動によるリスクを回避するためにデリバティブ取引を利用しております。

④ ヘッジ有効性の評価

ヘッジ対象の債務とヘッジ手段が同一通貨の為替予約については、有効性の評価を省略しております。

(6) 重要な収益及び費用の計上基準

システム受託開発に係る売上及び原価の計上基準

① 当連結会計年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められる案件

工事進行基準（進捗率の見積りは原価比例法）

② その他の案件

工事完成基準

(7) のれんの償却方法及び償却期間

のれんの償却については、5年間から10年間の定額法により償却を行っております。

(8) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ価値の変動について僅少なりリスクしか負わない、取得日から3か月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

(9) その他連結財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当連結会計年度から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当連結会計年度の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する連結会計年度の連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、当期純利益等の等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前連結会計年度については、連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当連結会計年度の営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益はそれぞれ7,500千円減少しております。

当連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表関係)

前連結会計年度において、「無形固定資産」の「その他」に含めて表示していました「のれん」は、資産の総額の100分の1を超えたため、当連結会計年度より独立掲記しています。この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「無形固定資産」の「その他」に表示していました28,924千円は、「のれん」16,395千円、「その他」12,529千円として組み替えています。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、従業員への福利厚生を目的として、「信託型従業員持株インセンティブ・プラン」を導入しております。当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成27年3月26日)を適用し、信託から従業員持株会に売却された株式に係る売却差損益、信託が保有する株式に対する当社からの配当金及び信託に関する諸費用の純額を資産又は負債に計上しております。

(1) 取引の概要

信託型従業員持株インセンティブ・プランは、電算システム従業員持株会に加入するすべての従業員を対象とするインセンティブ・プランです。信託型従業員持株インセンティブ・プランでは、当社が信託銀行に「電算システム従業員持株会信託」(以下、「従持信託」といいます。)を設定し、その設定後3年間にわたり電算システム従業員持株会が取得すると見込まれる数の当社株式を予め取得します。その後は、従持信託から電算システム従業員持株会に対して継続的に当社株式の売却が行われるとともに、信託終了時点で従持信託内に株式売却益相当額が累積した場合には、当該株式売却益相当額が残余財産として受益者適格要件を満たす者に分配されます。なお、当社は、従持信託が当社株式を取得するための借入に対し保証することになるため、当社株価の下落により従持信託内に株式売却損相当額が累積し、信託終了時点において従持信託内に当該株式売却損相当の借入金残債がある場合は、保証契約に基づき、当社が当該残債を弁済することになります。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により純資産の部に自己株式として計上しております。

自己株式の帳簿価額および株式数は次のとおりであります。

|                   | 前連結会計年度<br>(平成27年12月31日) | 当連結会計年度<br>(平成28年12月31日) |
|-------------------|--------------------------|--------------------------|
| 自己株式の帳簿価額         | 307,282千円                | 182,204千円                |
| うち当社所有自己株式の帳簿価額   | 84,347                   | 84,347                   |
| うち従持信託所有自己株式の帳簿価額 | 222,935                  | 97,856                   |
| 自己株式数             | 349,854株                 | 296,554株                 |
| うち当社所有自己株式数       | 254,854                  | 254,854                  |
| うち従持信託所有自己株式数     | 95,000                   | 41,700                   |

(3) 総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

|       | 前連結会計年度<br>(平成27年12月31日) | 当連結会計年度<br>(平成28年12月31日) |
|-------|--------------------------|--------------------------|
| 長期借入金 | 229,840千円                | 144,560千円                |

(4) 債務保証損失引当金の計上

持株会信託は1年以内に信託期間の終了を予定しておりますが、持株会信託が借入債務を完済できず当社が弁済する可能性が予想されるため、当該弁済見込額について債務保証損失引当金を計上しております。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会及び執行役員会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、サービス別に事業活動を展開しており、「情報サービス事業」及び「収納代行サービス事業」を報告セグメントとしております。「情報サービス事業」は、情報処理サービス、システムインテグレーション、ソフト開発及びシステム機器等の商品販売を行っており、「収納代行サービス事業」は、クレジットカード会社、コンビニエンスストア、銀行及び電子マネー事業者を窓口とした代金収納業務の代行サービスを行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの各項目の合計額は、連結貸借対照表又は連結損益計算書上のそれぞれの金額と一致しており、また、報告セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表の作成の基本となる重要な事項における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 平成27年1月1日 至 平成27年12月31日）

(単位：千円)

|                        | 報告セグメント      |                |            | 調整額       | 連結財務諸表<br>計上額(注) |
|------------------------|--------------|----------------|------------|-----------|------------------|
|                        | 情報サービス<br>事業 | 収納代行サー<br>ビス事業 | 計          |           |                  |
| 売上高                    |              |                |            |           |                  |
| 外部顧客への売上高              | 15,122,213   | 13,834,382     | 28,956,596 | —         | 28,956,596       |
| セグメント間の内部売上<br>高又は振替高  | 87,350       | 165            | 87,515     | △87,515   | —                |
| 計                      | 15,209,564   | 13,834,547     | 29,044,111 | △87,515   | 28,956,596       |
| セグメント利益                | 484,244      | 543,837        | 1,028,082  | 14,115    | 1,042,197        |
| セグメント資産                | 6,499,109    | 19,765,572     | 26,264,682 | 3,799,911 | 30,064,594       |
| その他の項目                 |              |                |            |           |                  |
| 減価償却費                  | 348,819      | 58,628         | 407,447    | 89,259    | 496,706          |
| 有形固定資産及び無形固<br>定資産の増加額 | 571,549      | 127,205        | 698,755    | 118,404   | 817,159          |

(注) 1. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には長期前払費用が含まれております。

当連結会計年度（自 平成28年1月1日 至 平成28年12月31日）

（単位：千円）

|                        | 報告セグメント      |                |            | 調整額       | 連結財務諸表<br>計上額(注) |
|------------------------|--------------|----------------|------------|-----------|------------------|
|                        | 情報サービス<br>事業 | 収納代行サー<br>ビス事業 | 計          |           |                  |
| 売上高                    |              |                |            |           |                  |
| 外部顧客への売上高              | 15,320,051   | 15,049,535     | 30,369,587 | —         | 30,369,587       |
| セグメント間の内部売上<br>高又は振替高  | 112,552      | 31             | 112,584    | △112,584  | —                |
| 計                      | 15,432,604   | 15,049,567     | 30,482,171 | △112,584  | 30,369,587       |
| セグメント利益                | 516,322      | 643,419        | 1,159,741  | △34,134   | 1,125,606        |
| セグメント資産                | 7,801,611    | 33,311,326     | 41,112,938 | 3,878,154 | 44,991,092       |
| その他の項目                 |              |                |            |           |                  |
| 減価償却費                  | 373,376      | 67,841         | 441,217    | 51,773    | 492,991          |
| 有形固定資産及び無形固<br>定資産の増加額 | 423,715      | 249,304        | 673,019    | 60,293    | 733,313          |

(注) 1. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には長期前払費用が含まれております。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

| 売上高        | 前連結会計年度<br>(千円) | 当連結会計年度<br>(千円) |
|------------|-----------------|-----------------|
| 報告セグメント計   | 29,044,111      | 30,482,171      |
| セグメント間取引消去 | △87,515         | △112,584        |
| 連結財務諸表の売上高 | 28,956,596      | 30,369,587      |

| 利益          | 前連結会計年度<br>(千円) | 当連結会計年度<br>(千円) |
|-------------|-----------------|-----------------|
| 報告セグメント計    | 1,028,082       | 1,159,741       |
| 全社費用配賦差額(注) | 14,115          | △34,134         |
| 連結財務諸表の営業利益 | 1,042,197       | 1,125,606       |

(注) 全社費用については社内基準により各報告セグメントへ配賦しております。

| 資産                          | 前連結会計年度<br>(千円) | 当連結会計年度<br>(千円) |
|-----------------------------|-----------------|-----------------|
| 報告セグメント計                    | 26,264,682      | 41,112,938      |
| 各報告セグメントに配分していない全社資産<br>(注) | 3,840,005       | 3,899,675       |
| セグメント間債権の相殺消去               | △40,093         | △21,520         |
| 連結財務諸表の資産合計                 | 30,064,594      | 44,991,092      |

(注) 全社資産は、主に提出会社における余資運用資金及び、報告セグメントに配分していない建物、土地等であります。

| その他の項目                     | 報告セグメント計<br>(千円) |             | 調整額<br>(千円) |             | 連結財務諸表計上額<br>(千円) |             |
|----------------------------|------------------|-------------|-------------|-------------|-------------------|-------------|
|                            | 前連結<br>会計年度      | 当連結<br>会計年度 | 前連結<br>会計年度 | 当連結<br>会計年度 | 前連結<br>会計年度       | 当連結<br>会計年度 |
| 減価償却費                      | 407,447          | 441,217     | 89,259      | 51,773      | 496,706           | 492,991     |
| 有形固定資産及び無形<br>固定資産の増加額 (注) | 698,755          | 673,019     | 118,404     | 60,293      | 817,159           | 733,313     |

(注) 1. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、管理部門における設備投資額であります。

【関連情報】

前連結会計年度（自 平成27年1月1日 至 平成27年12月31日）及び当連結会計年度（自 平成28年1月1日 至 平成28年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 平成27年1月1日 至 平成27年12月31日）

(単位：千円)

|       | 報告セグメント      |                |        | 調整額 | 連結財務諸表<br>計上額 |
|-------|--------------|----------------|--------|-----|---------------|
|       | 情報サービス<br>事業 | 収納代行サー<br>ビス事業 | 計      |     |               |
| 当期償却額 | 7,337        | —              | 7,337  | —   | 7,337         |
| 当期末残高 | 16,395       | —              | 16,395 | —   | 16,395        |

当連結会計年度（自 平成28年1月1日 至 平成28年12月31日）

(単位：千円)

|       | 報告セグメント      |                |         | 調整額 | 連結財務諸表<br>計上額 |
|-------|--------------|----------------|---------|-----|---------------|
|       | 情報サービス<br>事業 | 収納代行サー<br>ビス事業 | 計       |     |               |
| 当期償却額 | 15,806       | —              | 15,806  | —   | 15,806        |
| 当期末残高 | 445,524      | —              | 445,524 | —   | 445,524       |

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

|                     | 前連結会計年度<br>(自 平成27年1月1日<br>至 平成27年12月31日) | 当連結会計年度<br>(自 平成28年1月1日<br>至 平成28年12月31日) |
|---------------------|---|---|
| 1株当たり純資産額           | 812円42銭                                   | 866円60銭                                   |
| 1株当たり当期純利益金額        | 67円81銭                                    | 75円42銭                                    |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 | 67円74銭                                    | 75円40銭                                    |

(注) 1. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

|   | 前連結会計年度<br>(自 平成27年1月1日<br>至 平成27年12月31日) | 当連結会計年度<br>(自 平成28年1月1日<br>至 平成28年12月31日) |
|---|---|---|
| 1株当たり当期純利益金額  |   |   |
| 親会社株主に帰属する当期純利益金額<br>(千円)                                 | 660,382                                   | 732,361                                   |
| 普通株主に帰属しない金額(千円)  | —   | —   |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期<br>純利益金額(千円)                          | 660,382                                   | 732,361                                   |
| 普通株式の期中平均株式数(株)   | 9,738,144                                 | 9,710,925                                 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額                                       |   |   |
| 親会社株主に帰属する当期純利益調整額<br>(千円)                                | —   | —   |
| 普通株式増加数(株)  | 10,041                                    | 2,582                                     |
| (うち新株予約権(株))  | (10,041)                                  | (2,582)                                   |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後<br>1株当たり当期純利益金額の算定に含めな<br>かった潜在株式の概要 | —   | —   |

2. 1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数、1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎となる普通株式の期中平均株式数については、電算システム従業員持株会信託が保有している当社株式を控除対象の自己株式に含めて算定しております。

1株当たり純資産額の算定上控除した当該自己株式の期末株式数は、前連結会計年度95,000株 当連結会計年度41,700株であり、1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前連結会計年度31,900株 当連結会計年度70,111株であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(開示の省略)

上記以外の注記事項については、決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため開示を省略しております。

6. その他

(1) 役員の変動

役員の変動につきましては、平成29年1月30日開示の「取締役候補者の選任に関するお知らせ」をご覧ください。